



あたらしく、知多らしく。

梅香る わたしたちの緑園都市

令和6年7月18日（木）

知多市報道発表資料

市民協働課

担当：協働まちづくりチーム 田中
(0562-31-0382)

学校教育課

担当：教育総務チーム 眞坂
(0562-36-2681)

日本赤十字社と連携し外国にルーツのある児童生徒との コミュニケーションに関する研修を実施

知多市では、外国にルーツのある児童生徒が年々増加しており、教育支援の必要性が高まっています。全ての児童生徒が、ともに学ぶことができる教育環境を作るために、市内小中学校の教職員を対象とした、分かりやすい日本語の伝え方などを学ぶ研修を実施します。

1 日時・場所

7月23日（火）午後1時30分～3時30分 つつじが丘小学校

2 講師

愛知大学国際コミュニケーション学部 高村 めぐみ（たかむら めぐみ） 教授

3 参加者

つつじが丘小学校教職員 20人
市内の外国人児童生徒教育担当者 15人

4 内容

外国にルーツのある児童生徒を受け入れる際の留意点や、やさしい日本語^(※)について学ぶ研修です。外国にルーツのある児童生徒が、授業に参加しやすい教育環境となることを目指します。

なお、本事業は、6年5月に締結した日本赤十字社愛知県支部との地域活性化包括連携協定の子ども・子育て支援や多文化共生の実現にかかる事業として企画されたもので、同支部には課題の提案や講師の紹介などのご協力をいただきました。

※ 「やさしい日本語」について

「やさしい日本語」とは、普段使われている日本語を外国人にもわかるように配慮した、簡単な日本語のことで、常に決まった一つの正解があるわけではありません。やさしい日本語を活用することで、翻訳・通訳が不要となり、効率よく情報を伝えることができます。

わかりやすい、平易な言葉遣いや表現は、外国籍の方だけでなく、子どもやお年寄り、障がいを持つ方にとっても有効とされる、これからの社会に必要な共通言語です。